

2 男女共同参画の視点に立った意識の改革

(1) 男女共同参画の視点に立った意識改革と実践

「夫は外で働き、妻が家庭を守るべき」という考え方は、否定的意見が上回っています。また、「仕事を持っている場合でも、家事・育児は女性がすべき」という考え方も、否定的意見が上回っています。男女の地位の平等感は、男性の方が優遇されているという意見が多く見られます。

○ 性別役割分担意識

(%)

項目	肯定的意見	否定的意見	どちらともいえない
「夫は外で働き、妻が家庭を守るべき」という考え方に賛成である	13.4	57.4	29.2
仕事を持っている場合でも、家事・育児は女性がすべき	16.1	60.7	23.2

資料出所：愛媛県「平成26年度男女共同参画に関する世論調査」

○ 各分野における男女の地位の平等感

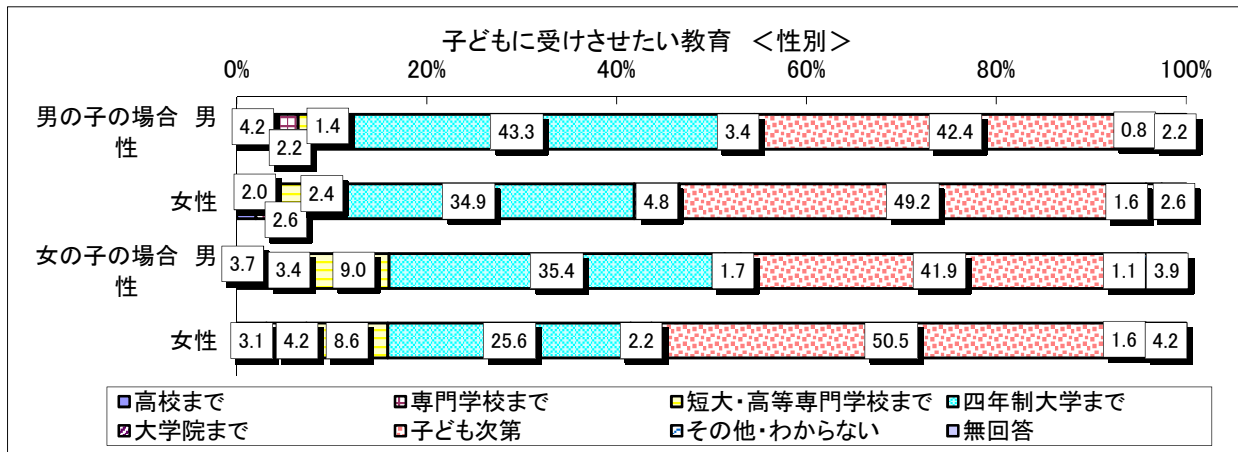
(%)

項目	平等になっている	男性の方が非常に優遇されている	どちらかといえば男性の方が優遇されている	女性の方が非常に優遇されている	どちらかといえば女性の方が優遇されている	わからない
家庭の中で	36.3	8.9	38.3	1.8	6.9	7.8
職場の中で	22.3	13.0	43.6	2.0	5.1	14.0
地域社会の中で	28.5	8.7	40.6	0.8	6.2	15.2
社会通念や慣習などで	16.1	14.3	54.2	1.0	2.3	12.1
法律や制度のうえで	41.8	6.7	31.6	1.8	4.4	13.7
政治の分野で	20.1	18.6	46.6	0.6	1.5	12.5
学校教育の分野で	58.0	3.7	18.0	0.8	2.9	16.7

資料出所：愛媛県「平成29年度県民生活に関する世論調査」

(2) 男女共同参画の視点に立った教育の推進

世論調査では、子どもに受けさせたい教育について、「四年制大学まで」と回答した割合は、男の子の場合よりも女の子の場合の方が低くなっています。また、「男の子は男の子らしく、女の子は女の子らしくしつけるのがよい」という考え方に肯定的な意見が過半を占めています。また、「性別にこだわらず、子どもの個性を伸ばす方がよい」という考え方に肯定的な意見が約9割を占めています。



資料出所：愛媛県「平成29年度県民生活に関する世論調査」

○ 教育に対する意識

(%)

項目	肯定的意見	否定的意見	どちらともいえない	無回答
男の子は男の子らしく、女の子は女の子らしくしつけるのがよい	52.3	15.0	29.3	3.3
性別にこだわらず、子どもの個性を伸ばす方がよい	88.8	2.0	6.3	2.9
学校で出席簿の順番など「男子が先」という習慣をなくした方がよい	32.8	19.5	43.4	4.3
女性は文系、男性は理系の分野が向いている	4.3	56.0	35.8	4.0
知的な能力は、性別による差よりも個人差の方が大きい	80.4	4.7	10.9	4.0

資料出所：愛媛県「平成26年度男女共同参画に関する世論調査」